

ワープロでE-Mailを始める

(1999年4月蔵前ジャーナル投稿原稿)

33化工 出山 基

現在パソコンの仲間とは、パソコン通信で連絡をとっていますが、ゴルフの仲間、趣味の仲間や友人との連絡は、私の年代ではパソコン通信をできない(やる気が無い)人が多くて不便に感じています。

パソコン通信の利点は、(1)電話と違って何時でも、又相手が不在でも送れる(2)多忙な人からでも、YES・NOの返事や、会合の約束等はすぐに返事が貰える(3)遠くに住む(勿論外国も含む)息子・娘や孫と頻繁に交信が安価にできるという点にあると思います。

ただ問題点は、すぐに返事が無い場合で、相手がメールを読んだかどうかは、Nifty 同士の場合は確認ができて便利ですが、Nifty から他のネットに送った場合は、そのネット或は会社が受信した時間が表示されるだけで、相手を読んできたかの確認ができません。その為には返事が必要なメールを受け取ったら、受け取ったと言う返信メールを入れることを習慣付けるべきだと考えます。

私が本稿で『ワープロで E-Mail のすすめ』を書いたのは、私と同年代の方でパソコンを家に持っていない人でもワープロは持っていて、年賀状の宛名書きに使っておられる方が多いと思ったからです。大抵のワープロには通信機能が付いていると思います。これを使って E-Mail により交流の輪を広げ、大いに楽しもうではありませんかと言うのが私の経験に基づく提案です。

私がニフティサーブに入会したのは平成2年2月ですから、今年に入会してから10年になります。当初は『キャノワードα5』というワープロで通信を始めました。そもそも生れて始めて自分のワープロを買ったのは平成元年で、目的は年賀状の宛名を書く事と通信を始めることでした。

ワープロで通信を行なう為に必要なのはそのワープロ専用の『通信ソフト』と、『モデム』です。私はパソコンと一緒に専用の通信ソフトと、1,200bps と 2,400bps が切り替えて使えるNECの「モデム」を買いました。現在では 56,000bps のモデムを買えば良いと思います。

Nifty には簡単につながり、初期の目的を達成しました。

Nifty に入った直後に、仕事の関係で、外国とメールの交信が必要になりました。会社では自分専用のパソコンで E-Mail 交信が出来ましたが、家に帰ると不便に感じましたのでワープロ通信で、米国の通信ネットである TELEMAIL への接続に挑戦し、キャノンの技術の方の協力を得て成功しました。

アメリカからの週末の連絡を家で受信し、返事を考えてから月曜日の朝に会社に持って行けるので大変便利でした。又週末の海外出張のスケジュールの連絡にも大いに役立ちました。随分昔のこのように思いますが未だ5年前のことです。

平成7年夏に、自宅にパソコンを買ったのでそれ以降はパソコン通信を行なっています。

単に通信だけを行なうのであれば、ワープロ通信で十分と思います。勿論インターネットも使えます。最近のパソコンはメモリーも大きくなったので更に色々なことができると思います。

蔵前チャットには研究室の後輩の石井登喜男さん(35化工)の紹介で約1年前に入会したのですが未だ発言ゼロです。現在パソコンのパワーアップで多忙ですので、それが終わったら蔵前チャットにも顔を出したいと思っています。それよりも E-Mail で33年同期(燦々会)のゴルフの連絡がとれる様になることを念願しています。